

からだのとしょかん通信

一本の紹介 乳がん 2010年4月 桜号

世の中には、がんに関する情報が本当にたくさん溢れています。まず何から調べれば良いのかわからなかったり、あまりの情報量に圧倒されるかもしれません。

がんは、たとえ同じ場所にできたものでも性質や状態は人それぞれに違います。また、顔つきがそれぞれ違うように、体の作りも人によって異なります。それをわかった上で、情報を自分のものにしていくことが大切です。

ご紹介する本は、

『乳がんの女医が贈る うまく使って、うまくかわす!怖くない抗がん剤』



(小倉恒子, 主婦の友社, 2009)です。

著者の小倉恒子氏は、医師であり患者でもありました。体験談をわかりやすく述べています。

「検査の説明が今一つわからない」「抗癌剤治療に躊躇している」という方には、複雑に絡み合った情報をスマートに整理できるように解説されています。

そして、病気だけに目を向け不安な毎日を過ごすのではなく、「生き生きと自分らしく」

「前向きに治療を受けることができる」

そんな生活が送れる参考書として、是非読んでみてはいかがでしょうか。

*** からだのとしょかんには、他にも下記のような乳がんの本があります。***

『患者さんのための乳がん診療ガイドライン 2009年度 第2版』(日本乳癌学会編, 金原出版, 2009)

『乳がんカウンセリング～ここまで患者に伝えたい基礎知識～改訂第3版』(福富隆志, 南江堂, 2009)

『乳がんにかかったら読む本 治療法とQOL(生活の質)』(イカロス出版, 2009)

『心配しないでいいですよ再発・転移 乳がん 改訂第2版』(畠清彦編, 真興交易医書出版部, 2009)

『生きるための乳がん あなたが決める克服するための医療』(リリー・ショックニー, 三一書房, 2008)

『乳がんテキスト: 正しい知識と理解のために 改訂第2版』(野口昌邦, 南江堂, 2008)

『インフォームド・コンセントのための図説シリーズ 乳がん薬物療法』(戸井雅和, 医薬ジャーナル社, 2008)

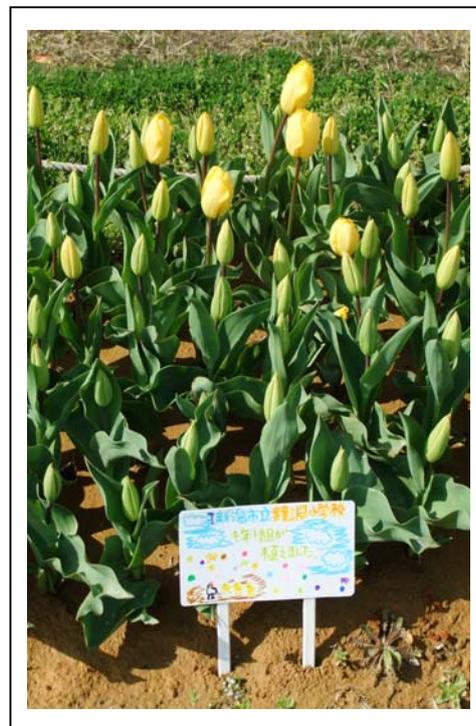
『DVD 安心して治療を受けるために 乳がん治療ガイド』(渡辺亨, 中村清吾監修, 乳がん情報箱編, ブリストル・マイヤーズ, 2007)

『乳がん治療の正しい知識: 適切な治療を受けるために』(山田哲司, 橋本確文堂, 2004)

『乳がん: よくわかる乳房温存療法と治療薬』(川端英孝, SSコミュニケーションズ, 2003)

新潟市中央区の桜開花宣言は4月11日でした。寒い日が多く、ようやく19日に見ごろを迎えました。

4日、11日、19日の写真をお届けします。



やすらぎ堤には鏡淵小学校生徒の植えたチューリップも咲き始めました。



花見客でにぎわう「りゅーとぴあ」前の公園